

Power of Nanrei

～心一つに 歌おう未来へ～

70th





本日は私ども「南洋会合唱団」の設立70周年記念演奏会にご来聴くだりありがとうございます。
 南洋会合唱団は1993年に組織改変し、団員をグリーククラブ員に限定することなく、男声合唱愛好家であればどなたでも参加いただける一般合唱団として活動をつづけておりますが、その起源は1940年に旧制大阪商科大学（現大阪府立大学）グリーククラブOBによって設立された南洋会にあり、今年が設立70周年にあたります。

そこで、今回の演奏会には、設立7年目、合唱活動を軌道にのせました東京南洋会合唱団の単独ステージとオール南洋会の合同合唱のステージを盛り込みました。

男声合唱ばかりのステージは些か狭まり過ぎであると自覚いたしておりますが、各ステージはそれぞれ趣のある音楽で構成したつもりでございます。また、「山岸翁男声合唱作品集」は、作曲家山岸翁先生ご自身に指揮していただくステージです。今回の演奏会のために男声合唱用に編曲いただいた作品で、男声合唱では今回が本邦初演となります。

こうして、南洋会合唱団が70周年記念演奏会を開催することができましたのも、本日の会場にお出でいただきました皆様はもとより、これまでご厚情くださいました講先生、数々の仲間など多くの方がこの支援の賜物と有難くお礼申し上げます。来年3月29日（日）には先会場におきまして、第31回ANCOの会の開催が決定いたしております。

このように近い目標を励みとして、設立80周年記念演奏会が開催出来ますよう頑張って行きたいと考えております。今後とも未だご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

南洋会合唱団団長 栗田直也



南漣会合唱団演奏会 プログラム

司会 白石 公子

1. 男声合唱による日本抒情歌曲集、宮崎駿アニメ映画音楽集

●南漣会合唱団 ●指揮/山田将 ●ピアノ/石幸千郎 ●ピアノ連弾/森本敦子

2. ポリフォニーの調べ ～ルネッサンスから現代まで～

●東京南漣会合唱団 ●指揮/原田桂亮

3. 「月光とピエロ」～オール南漣会合同で歌う、男声合唱不朽の名曲～

●東京南漣会合唱団、南漣会会員、大阪市立大学グリークラブ、南漣会合唱団 ●指揮/藤原正文

～休憩～

4. オペラ合唱曲集

●南漣会合唱団 ●指揮/三橋隆 ●ピアノ/石幸千郎 ●ホルン/石幸千歳

5. 山岸敬 男声合唱作品集 ～作曲家指揮による～

●南漣会合唱団 ●指揮/山岸敬 ●ピアノ/石幸千郎



指揮者 山岸 敬

作曲家とある

関西を拠点として作曲活動を行っている、明日作曲賞ほか、各種の作曲コンクールで受賞。全日本合唱コンクールや連弾の会日本歌劇コンクールの課題曲を作曲した他、多数の作品がある。文化庁奨励事業「日本の作曲家2008」（東京）でも作品が賞賛された。また指揮の分野では「ロングムス田舎合唱団指揮者セミナー」(1999年)でディプロマをとり、大阪教育大学特別教授(音楽)課程市高等学校、同大学に移り、現在、大阪キリスト教短期大学専任講師、同社会女子大学兼任講師、関西合唱コンクールや74教会堂音楽コンクール(和歌山大会)ほか各地で審査員を務める。日本作曲家協会の会員、ひょうご日本歌劇の会理事。



ピアニスト 石幸 千郎

いしこう ちあき

大阪芸術大学を卒業後全席生として卒業、同大学芸術専攻科修了。演劇学専攻研究発表受賞、卒業演奏会、関西新入演奏会に参加。これまでに、岡友徳子、トシユウヘンカワの専攻生に師事。関西フィルハーモニーオーケストラ、ロシアにて関西アカデミーオーケストラ首席、大阪芸術大学専任委員を経て、現在、関西女子短期大学専任講師、主マッコウ音楽院講師、合唱団の指揮のピアニストを務める。●全日本指揮者協会会員、

70th

男声合唱による日本抒情歌曲集 宮崎駿アニメ映画音楽集

- 指揮：山田 稔 ●合唱：南漣会合唱団
●ピアノ：石幸 千絵 ●ピアノ連弾：森本 敦子

林 光 編曲 男声合唱による日本抒情歌曲集

- ◎からたちの花(北原白秋作詞 山田耕作作曲)
からたちの花が咲いたよ～白い白い花が咲いたよ～
- ◎蒼鷹八重(高橋 枝作詞 滝澤太郎作曲)
高橋の山は天下の旗 高谷間も物ならず～
- ◎椰子の実(島崎藤村作詞 大中実二作曲)
名も知らぬ遠き島より 流れよる椰子の実ひとつ～

信長貞富編曲 宮崎駿アニメ映画音楽集

- ◎もののけ姫(宮崎駿作詞 久石譲作曲)
はりつめた号の ふるえる弦(つる)よ
月の光にざわめく おまえの心～
- ◎やさしさに包まれたなら(荒井由実 作詞作曲)
小さいころは神様がいて
不思議に夢をかなえてくれた～
- ◎となりのトトロ(宮崎駿作詞 久石譲作曲)
誰かが こっそり こみちにおののく
小さな芽 生えたら
秘密の番号 森へのパスポート～
- ◎さんぽ～FINALE (中川幸枝子作詞 久石譲作曲)
歩こう 歩こう 私は元気
歩きたいとき どんどこいこう～

第1ステージは「日本の歌」を演奏します。
西洋音楽が日本に入ってから1世紀あまり、明治以降
多くの日本の作曲家が日本の歌曲を作曲してきました。
日本人ならではの個性と日本語の美しさを活かした曲も
数多く生み出されました。
今回は、私達の魂もが子供の頃から親しみ、歌ってきた
「日本抒情歌曲」から3曲と、新しい日本の歌として
「宮崎駿アニメ映画音楽集」から4曲を演奏します。
歌謡はアレンジにより新しい音楽に生まれ変わります。
新曲本来の美しさ、美しさを生かしつつ、合唱団ならではの
ハーモニーを加え、新鮮でスケールの大きな響きに変わ
ります。
男声合唱の豊厚で美しく、そして美しい曲として皆様へ
お届けしたいと考えています。(山田 稔)



山田 稔 やまだ みのる
大阪府立福泉高校 音楽部指揮者を経
て、大阪府立大学オーケストラ部学生指揮
者、1969年同大学卒業。卒業後は、豊中
高等学校、関西東文グループ男声合唱
団で、指揮・合唱活動。2006年から南漣
会合唱団 指揮者、大中 実、滝澤 郎、
高田 二郎など、数種あふれる合唱音楽を
愛す。好きな言葉は「心で歌う」。尊敬
する指揮者は、新井 武。

森本 敦子 もりもと あつこ
4歳からピアノを始める。大阪府立大学芸術学部音楽学
科ピアノ専攻卒業。卒業演奏会に出演。母木野子氏に師
事。現在は、声楽や管弦の伴奏、CD録音、ブライダル演
奏などで活躍する。ヤマハピアノコンクール。

70th

ポリフォニーの調べ

～東京南響会合唱団～

Josquin des Prez 「ミサ・マテレン・パトリス」より「グローリア」
 T・L de Victoria 「地上は楽園となった」
 Joani Szymko 「アヴェ マリア」
 G・P da Palestrina 「バビロンの塔のほとりて」
 H.Vila Lobos 「ミサ・セバスチアーノ」より「アニュステイ」

- 指揮：原田 佳晃
- 合唱：東京南響会合唱団



原田 佳晃
 ほらむ よしあき

大阪府立大学芸術学博士
 1942年～1948年、東京音楽大学、音楽教育の修了。
 1950年～山本武雄氏に合唱指揮法・声学を修め、1970～75年東京音楽大学合唱・指揮科、1994年～現在、東京音楽大学音楽学専攻、指揮学・合唱学に専攻し、指導者。

多くの合唱曲は、歌声が旋律を唱い、他の声部が和音を付けるホモフォニーであるのに対し、ルネッサンス時代は、全ての声部がそれぞれの旋律を奏で、少し遅れて複調し、何音か高く(低く)早行し・遅れし・絡み合い、しかも全体としては美しい和音を奏でるポリフォニーが主体的でした。その後も現代にいたるまで、ポリフォニーの新しい作品は玉手箱出され、また多くの楽曲の中でホモフォニーと寄り添って、新たな流れ続けています。男声合唱の拠点とも云えるポリフォニーの魅力が、時代の流れと合わせてお楽しみ頂ければ幸いです。

1. Gloria (栄光の賛歌) : フランドル楽派の巨匠＝ジョスカン・デ・プレによる「ミサ・マテレン・パトリス」の第2曲で、ポリフォニーの様々な技法が分かり易く、また楽しめる作品。歌詞はミサ通常文(以下全部ラテン語)で、神をたたえ・感謝し、地上の平和と自分達への神の憐れみを願う長い祈りである。なお、1591年聖楽集で、天主教少年使節が聖堂発表の前で、ジョスカン・デ・プレの楽曲を演奏したと伝えられる。

2. Tenebrae factae sunt : スペインのバレストリーアと云われるビクトリアによる、聖金曜日の朝に暗く警戒。歌詞は新約聖書の4福音書からイエスの死に関する短い言葉で構成され、イエスが十字架に架けられた瞬間に天は暗闇となり、イエスが静かに息を引きとられるまでの様子が描かれる。

なお、新約少年使節がビクトリアに出会ったり、支那舞臺の洗礼式でその作品が演奏された可能性が推測されている。

3. Ave Maria (聖母の賛歌) : 清く穏やかな米国の女流作曲家・合唱指揮者によるこの作品は、ポリフォニーが現代作品にまで生きていく好例である。簡素な音階進行に現代的和声を与えて、よく知られる「マリア賛歌」がポリフォニックに昇華されて行く。

4. Super flumina Babilonis : ローマ近郊・バレストリーア生まれの巨匠によるこのセテットは、ポリフォニーのハイブル的作品。歌詞は旧約聖書の詩篇137-12により、「バビロンの塔のほとりて」で遅れてこられたユダヤ人傭兵が、そこでシオンを思い出して涙を流し、シオンの歌を暗々と囁く異教徒の傭兵に反応して、涙を流す木の枝に掛ける様子が描かれる。

5. Aena Dei (平和の賛歌) : スペイン系ブラジル人・ウイ・04-13による「聖セバスティアンの三声ミサ」の最終曲。歌詞はミサ通常文で、伝統的なポリフォニーの形式に拘りながら、緩やかな旋律と現代的和声で、「われらに平和を与え給え」と祈り上げる。(原田佳晃)

月光とピエロ ～オール南滞会

堤口大学作詞 清水操作曲 男声合唱組曲 「月光とピエロ」

1. 月夜 (月の光の照らすはピエロさびしく立ちこけり〜)
2. 秋のピエロ (泣き笑いでわがピエロ 秋じゃ秋じゃと歌うなり〜)
3. ピエロ (ピエロのつらさ 身のつらさ ピエロの涙は真白け〜)
4. ピエロの嘆き (悲しからず悲はピエロ 月の光のててなし飛〜)
5. 月光とピエロとピエレットの愚草模様 (月の光に照らされて踊りけり〜)

- 指揮：加藤 正文
- 会場：南滞会会員、大阪市立大学グリークラブ
東京南滞会合唱団、南滞会合唱団



加藤 正文
かとう まさはる

1964年東京生まれ、33歳からピアノを弾く。2010年に入学した大阪市立大学グリークラブに入団、指揮者当時、神戸大学音楽部合唱で指揮者として活躍し、数回その指揮者として大阪交響楽団に出演する。現在は、神戸市立中央図書館学芸員。

～、ピエロは堤口大学日本第一の指揮、現代、神戸市立中央図書館学芸員。

みずみずしい青年の歌ー清水操・生誕100年前にー

「男声合唱の醍醐味を名の通まで味わったのは、(大阪外国語学校の) グリー・クラブ部長としての3年間であった」。清水操(1911～88年)は随想集「合唱の奥顔」でこう振り返っている。清水にとって外国グリーは青春そのものだった。大阪の朝日会館で裏方を歌い、コンクールに出場し、直前に演奏禁止に出かけると、随想には美しい思い出がらんどんどんとつづられている。

作曲家として知られる清水だが、前身なマルチ人間だったようだ。「経理学物語」などで傑作オペラの父と呼ばれ、合唱作品も40曲以上ある。一方、出陣にも熱心で、雑誌「音楽之友」の編集に携わり、カワイ楽譜では社長にもなった。著作も楽くほと多い。

「青春音楽道談」「合唱指導必携」などに加え、外国出身の指揮者を生かし、「ドビュッシーに就いて」「ベルリオーズ四重奏」といった訳書もある。

今迄、作品を読み、かつ聴き返して、永遠のグリーマンと聞いてもいい、そのみずみずしい感性に打たれた。

きょう演奏する「月光とピエロ」は初稿もなく清水自作である。世に出たのは1948年、堤口大学の第一教集に歌を得て、あこがれ、涙、寂しきなどを、清水調としか言いようのない響きで表現した。合唱組曲という形式は、清水がこの作品で初めて使った手法とされる。「日本の合唱曲の源流」と評価されるゆえんである。

戦前後の日本で青年たちの心を呼び、半世紀以上、遺稿と歌い継がれてきたことに、この作品の確しき生命力を感じる。

清水をはじめとする作曲家や歌手を輩出してきた日本の男声合唱は、大学グリーの部員層などで表現活動場にある。その一方で、かつての輝きを知るOBを中心とし、中高年層の活動は盛んに、南滞会を自覚して日々、練習を続けるグループがたくさんある。メンバーが重なる時、やはりこの歌に帰る。

「泣き笑いでわがピエロ〜」2オクターブほどの音域に4声が交差し、絶妙に絡み合う。来年は清水操の生誕100年、大阪市立大学グリークラブの85周年とも重なる。新刊を記念して全志願の男声合唱の魅力も、歌が響くその人ごとともに、精一杯、表現したい。～文中敬称略 (加藤正文)

合同で歌う 男声合唱不朽の名曲～

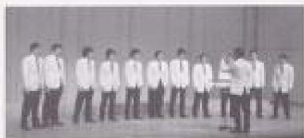
心一つに 歌おう未来へ！ オール南澤会合同演奏に寄せて 南澤会会長 安井 永

第3ステージは、南澤会設立70周年記念として、南澤会・南澤会合唱団・東京南澤会合唱団・大阪市大グリークラブの4団体による、特別に実現初めての大型のステージです。18歳の誕生日から58歳を迎える人たちが集めた幅広い世代と、全国各地からのメンバーが集まって、「心を一つにして」歌う、これを契機にオール南澤会として更なる発展を目指したいと願っています。

- 南澤会は、大阪市立大学グリークラブのO日会前編として、年に一度「O日の輝い」を母校・本キャンパスで開催し、会員相互の親睦を図っています。また市大グリークラブへは、活動費の補助、定期演奏会での合唱演奏など物心両面から支援をしています。本日の合唱会場には、日ごろ合唱活動をしていない会員が参加します。
- 南澤会合唱団は、継続的に合唱活動を行いたい会員により、1980年、南澤会とは別に南澤会合唱団を組織、南澤会会員だけでなく、一般の男声合唱を愛する人達も多数参加する一般市民合唱団として活発な活動を続けています。
- 東京南澤会合唱団は、東京南澤会の南澤会会員有志によって、2003年に設立され2006年に第一回演奏会を開催しました。参加は大半O日の入団も初め者、団員が希望の30名を超え、もともと「イーモニー」と練習後の飲み会を華やかに元気に活動しています。本年10月30日に東京・緑区区民ホールにて第2回定期演奏会を開催しました。
- 大阪市立大学グリークラブは、今年で創立85周年を迎える南澤会の拠点です。近年の部員減少は大きな課題ですが、元氣一杯の活動をしています。本年12月4日にクレオ大阪南にて第60回定期演奏会を開催します。



▲東京南澤会合唱団



▲大阪市立大学グリークラブ



●南澤会による
大阪市大グリー新人歓迎会

70th

山岸徹 男声合唱作品集

～作曲家指揮による～

指揮者山岸徹 山岸徹作曲

「朝に」

たなかとしひろ作詞 山岸徹作曲

詩集「雑木林のむこうに」による二つのパストラル

「やぶかんぞう」「夕焼けをあび」

*2曲目は、連続して演奏されます。

- 指揮 : 山岸 徹
- 合唱 : 南海会合唱団
- ピアノ : 石塚 千昭

本ステージの演奏曲目は
男声合唱団推薦となりです。

作曲家の立場から

2004年より休職からの復帰として南海会合唱団の指揮者を担当させていただいています。定期演奏会の出演は今回で3回目となります。

この合唱団の持ち味を生かしたクリエイティブなステージにしたいと思い、選曲についていつも悩むのですが、今回は自作曲を演奏することになりました。南海会合唱団のために男声合唱用として書き直したものです。

2005年に演奏した「ぼとみちおの詩による男声合唱のための五つの風景」は、その後カワイから出版された男声合唱団でもとり上げられています。若しくは、南海会合唱団の皆さんとのコラボレーションによって新しい作品を発見できたということでも感謝しています。

1. 「朝に」

立派な道（1914～1939）の詩集「愛しき道」の中の詩によります。木立れ道に歩く時の風景の中、雑草に染めた道を歩いたげます。この詩も最初は歌謡として作られたものを男声合唱的に書き直しました。

おまへの道が 明るくぬの ひともれのように
いつも めざめた道のにほひがける～

2. 詩集「雑木林のむこうに」による 男声合唱のための二つのパストラル

パストラル風調の歌曲として作られ、昨年11月に「ひょうご日本芸術の会」演奏会で発表した作品で、その後男声合唱用に書き直しました。詩は兵庫県在住の詩人によるもので、身近な雑木林の風景からの自然の四季の境界を想像するという深い内容のものです。曲においては男声合唱とピアノによる効果的な効果的な響きとなりです。

「やぶかんぞう」 やぶかんぞうは一日花
朝（あした）に開き 夕べに閉じる
まきよ やぶかんぞう 今日一日を～
「夕焼けをあび」 夕焼けに手をのぞし
夕焼け空に 影の道は
そこは どこまでも 秋空千重～



やぶかんぞう（鎌倉草）
名前の野山や雑、人足近くで
みられるユリ科の草花で、花
はオレンジ色、群生することが多い。

70th

南漕会合唱団70年のあゆみ

●南漕会合唱団 宮田 潤

南漕会合唱団は1940年大阪府科大学（現：大阪市立大学）グリーククラブとそのOBによって設立し、この年に合唱で第1回演奏会を開きました。翌年から大戦に突入し、戦火や、戦後大学が道頓堀に移設されたりで、活動の記録や資料は散逸してしまいました。1953年に活動を再開し、1964年に第二回演奏会が開催されました。1980年、母校100周年を機に、OB会である南漕会とは別に、「南漕会合唱団」を組織し、一般の男声合唱愛好者にも広く参加を呼びかけ、市民合唱団としてほぼ隔年に演奏会を、また、「五つのOB男声合唱の集い（ANCORの会）」を毎年、そして「旧三群大OB交歓演奏会」を隔年、各団持ち回りで開催しています。その他、有志による諸施設の慰問演奏や友好団体演奏会への賛助出演など、活発に活動しております。

今は、平均年齢60歳代後半の、高齢者も多数所属する熟年合唱団ですが、ジャンルにとらわれず、いろいろな曲に挑戦し、歳を重ね、よい音楽作りに邁進、意気をかけております。

1940.6.11(土)	第1回演奏会	大宮2326H	大阪府科大学グリーククラブOBにより「南漕会」設立。演奏会記録不詳
1944.1.18(土)	第2回演奏会	自立サールーン	指揮：藤山吉 曲集：ロシア交響曲「祝し曲集」/Ave Lailaイタリヤ交響曲「鐘楼の歌」(指揮者：藤山吉)
1949.2.28(土)	第3回演奏会	北斎堂会館	指揮：小宮 シンガ楽団 指揮：藤原 山田武夫 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) / Ave Maria / Ours River
1951.6.17(土)	第4回演奏会	五つOB男声合唱の集い(会館)	指揮：藤原 小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)
1954.2.14(土)	第5回演奏会	藤田記念ホール	指揮：小宮 シンガ楽団 指揮：藤原 山田武夫 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)
1964.3.30(土)	第10回演奏会	サイレントホール	指揮：小宮 シンガ楽団 指揮：藤原 山田武夫 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)
1997.7.13(日)	第20回演奏会	南漕会会館(大阪市文化センター)	指揮：小宮 シンガ楽団 指揮：藤原 山田武夫 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)
1999.8.27(日)	上原市の日本交歓演奏会に参加、上原市青少年活動センター	指揮：小宮 日本交歓 指揮：藤原 小宮マコト(指揮者：藤原 山田)	
2000.11.1(土)	第25回演奏会	シオウバウホール(参加)	指揮：小宮 シンガ楽団 指揮：藤原 山田武夫 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)
2001.8.20(日)	南漕会合唱団(前身)50周年記念演奏会(参加、上原市文化会館)	指揮：小宮 シンガ楽団 指揮：藤原 山田武夫 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)	
2001.11.10(日)	第32回演奏会	ドーンセンター	指揮：藤原 山田武夫(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)
2004.8.27(土)	旧三群大OB男声合唱団交歓演奏会を組織、藤田記念ホール	指揮：藤原 山田武夫(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)	
2005.11.20(日)	第40回演奏会	ドーンセンター	指揮：藤原 山田武夫(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)
2006.11.19(日)	第44回演奏会	ドーンセンター	指揮：藤原 山田武夫(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)
2010.11.14(日)	第47回演奏会	大宮国際交流館	指揮：藤原 山田武夫(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田) 指揮：小宮マコト(指揮者：藤原 山田)

(別途、70年のあゆみを記した「記念冊」の発行を予定しています。)

出演者



南澤会会員・グリークラブ 合同練習

	南澤会合唱団		東京南澤会合唱団		南澤会会員		大阪市立大学 グリークラブ
第1チノール T1	尾崎 純 青森 三郎 野末 一郎 杉方 靖二	月川 亮 福野 成雄 吉川 武士 松波 謙三	天野 英樹 井上 英康 岡本 善久 小倉 徹也	藤田 謙孝 田和 達夫 藤田 佳美 望月 豊	梶 三千彦 片山 幸 佐々木 博達 杉村 明 田中 宣和	辻野 敏隆 野方 博一 福家 伸治 真木 豊太郎 森本 善一	大町 拓巳
第2チノール T2	大内 一 今村 肇 白石 文良 戸田 勝	丸尾 嘉重 村山 健郎 藤田 龍夫 山田 悠	高田 保之 小林 淳次郎 栗山 寿志 鶴田 雅治郎	永田 利雄 松本 嘉因 宮内 隆造	井上 信紀 今西 弘一 樋田 英幸 加藤 正文 飯代 淳生 白井 清貴	白神 順平 高田 達治 宮内 善 森 敏章 吉田 龍太郎 米花 啓	美 睦 若井 裕
ソロトン S1	石井 健三 石川 健夫 石原 潤一 大田 一忠 片岡 正平 谷岡 昇 辻 勇郎	藤原 栄治 廣岡 孝一 松田 桂一郎 山内 石作 横田 卓朗 米田 豊也	今井 啓大 川上 勲一 木田 豊 田中 利治	高橋 和彦 野津 義雄 原 弘信	藤原 慎二 岸田 忠治 小嶋 智幸 茂山 和基 松本 竜也	玉田 健二 長谷 雅美 中川 幹雄 西川 博史 森田 健志	岡本 一希 友枝 勇樹 名取 雅実 山村 卓史
バス B1	井上 知三 今道 隆夫 上木 春雄 大塚 彰 小倉 裕 藤木 武男	下伊豆 哲夫 三橋 隆 宮田 淳 森田 清 安井 水 和田 昭夫	井上 嘉雄 上村 正昭 秋名 正宏 森田 和彦 高橋 雅雄	中川 清 中川 博義 平手 彰 橋本 裕文	藤田 豊 保原 学 田中 勲一	山崎 一規 山本 栄三 吉田 洋一	福澤 敏秋 豊井 雅哉

<設立70周年記念>

南漑会合唱団 演奏会

●2010年11月14日(日) 午後1時30分開演 ●大阪国際交流センター大ホール

70th



あなたも
南漑会合唱団に
参加しませんか！

●当合唱団は男女声合唱を楽する力ほ
どなたでも参加できる一輪合唱団です。

歌を通して、楽しく、味のある人間交流。
いや～、しいもんですわ！

●練習日：毎週土曜、午後6時～9時

●場所：大阪フィルハーモニー会館

(地下鉄「岸ノ里」または「天下茶屋」駅から徒歩5分)

●若い人も、年配の人も歓迎。歌の経験は問いません。

●連絡先：合唱団幹事長、尾崎尚

tel: 0742-47-7554 e-mail: oosamu2008@male.gonet.ne.jp

